

MONITOUCH

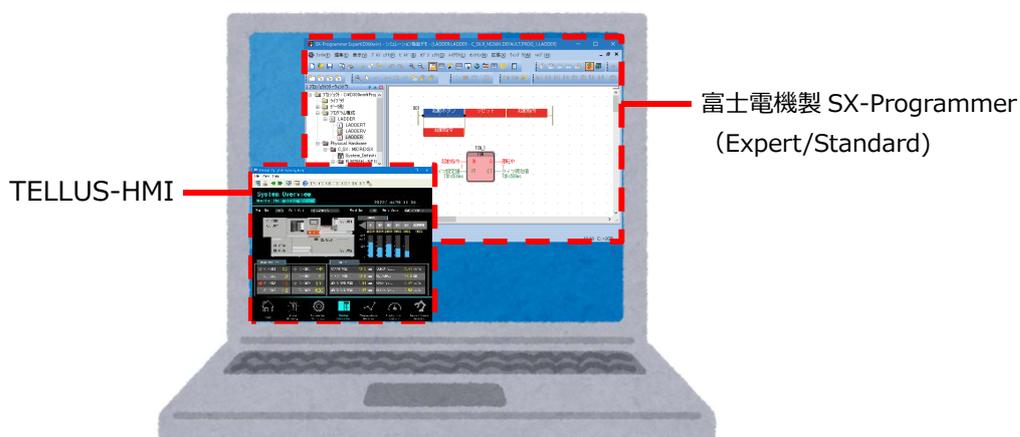
テクニカルインフォメーション

2022年6月9日

テーマ	TELLUS-HMI Ver. 4 と SX-Programmer のオフラインシミュレーションについて		
該当機種	V9 シリーズ	No. TI-T-0004	1/8

1. 目的

V9 シリーズ本体と PLC 実機がなくても、TELLUS-HMI と SX-Programmer をオフラインでシミュレーション接続し、PLC のプログラムと連動して画面の動作を確認できます。



2. 動作環境

■ 対応機種

V9 シリーズ *V-SFT-6 で画面データの設定・保存が必要

■ 対応 PLC 機種

富士電機 : MICREX-SX (Ethernet) *PLC1、1:1 接続のみ可

■ PLC ロードソフト SX-Programmer

SX-Programmer Expert の場合 : V3.6.14.22 以降

SX-Programmer Standard の場合 : V3.1.0.13 以降

■ TELLUS-HMI

弊社ホームページより試用版をダウンロードできます。(ただし 1 時間単位の起動になります。)

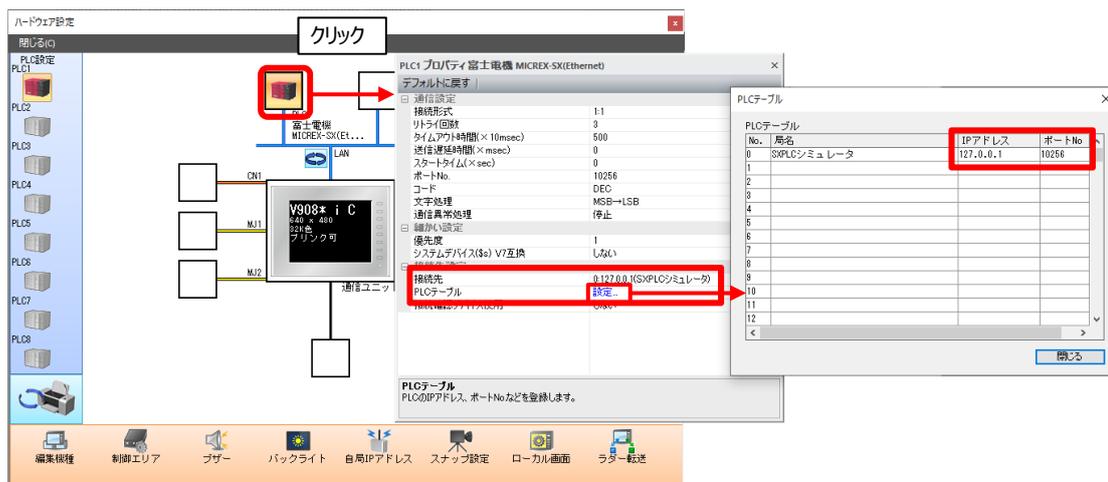
<https://hakko-elec.co.jp/site/support/download-index.html>

3. シミュレーション接続までの流れ

- V9 シリーズ 画面データの設定 (作画ソフト「V-SFT-6」使用) P. 2
- ↓
- ネットワークの切断 P. 3
- ↓
- SX-Programmer SX シミュレータの起動 (PLC ロードソフト「SX-Programmer」使用)
- SX-Programmer Expert の場合 P. 3
- SX-Programmer Standard の場合 P. 6
- ↓
- TELLUS-HMI の起動 (ソフトモニタ「TELLUS4」使用) P. 8

4. V9 シリーズ 画面データの設定 (V-SFT-6)

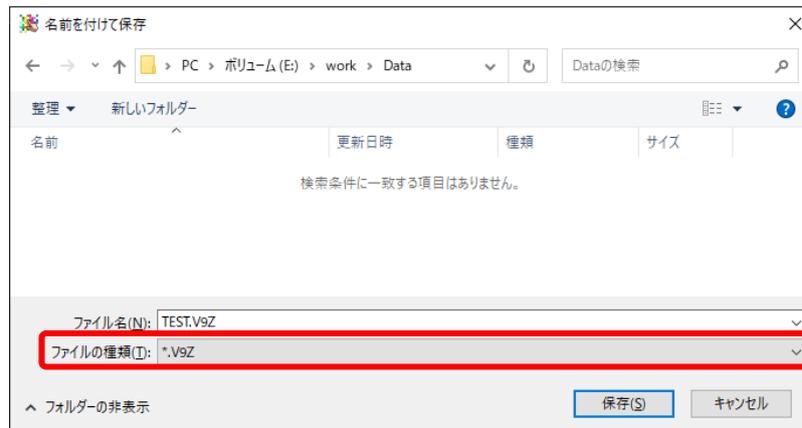
1. V9 シリーズの画面データを開きます。
2. [システム設定] → [ハードウェア設定] で PLC の IP アドレス、ポート No. を変更します。
 IP アドレス : 127.0.0.1 (固定)
 ポート No. : SX-Programmer Expert の場合…10256 (固定)
 SX-Programmer Standard の場合…2001 (固定)



3. [ファイル] → [名前を付けて保存] をクリックします。



4. [ファイルの種類：*.V9Z] を選択後、任意の名前を付けて保存します。



4. ネットワークの切断

使用するパソコンの全てのネットワークを切断します。(例：LAN ケーブルを抜く、Wi-Fi を OFF にするなど)



ネットワークにつながっていると、正常に通信できない場合があります。

5. SX-Programmer SX シミュレータの起動

5.1 SX-Programmer Expert の場合

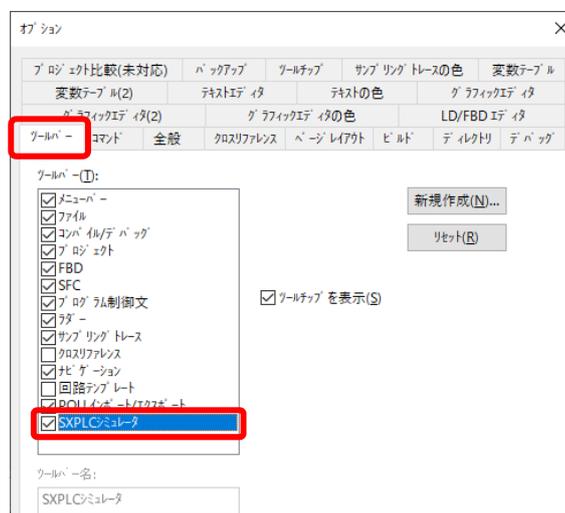
- 1 PLC のプロジェクトデータを開きます。
- 2 [ビルド] → [プロジェクトの再コンパイル] をクリックし、プロジェクトにエラーがないことを確認します。
- 3 ツールバーにある [SXPLC シミュレータ] アイコンをクリックし、SXPLC シミュレータを起動します。



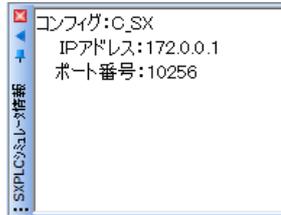
ツールバーに [SXPLC シミュレータ] アイコンがない場合

[拡張] → [オプション] → [ツールバー] タブで、[SXPLC シミュレータ] にチェックを入れます。

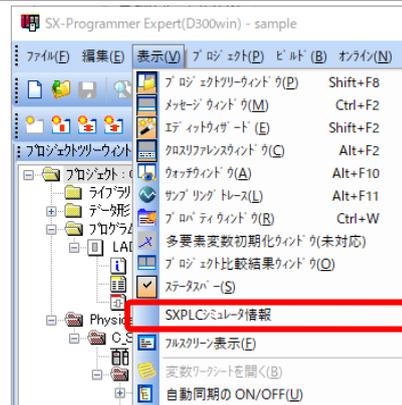
例) SX-Programmer Expert
Ver. 3.7.1.17



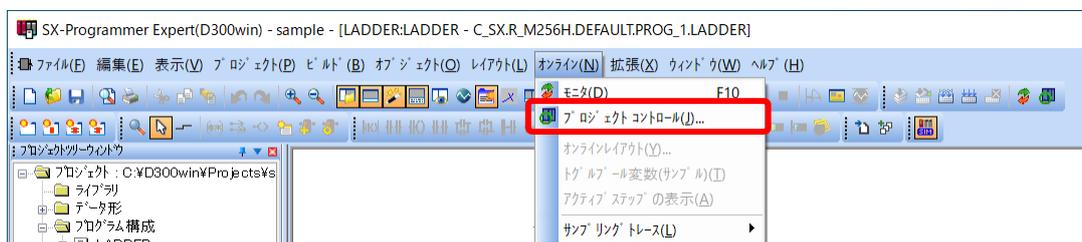
- 4 SXPLC シミュレータが起動すると、[SXPLC シミュレータ情報] ダイアログに SXPLC シミュレータの IP アドレスとポート番号が表示されます。



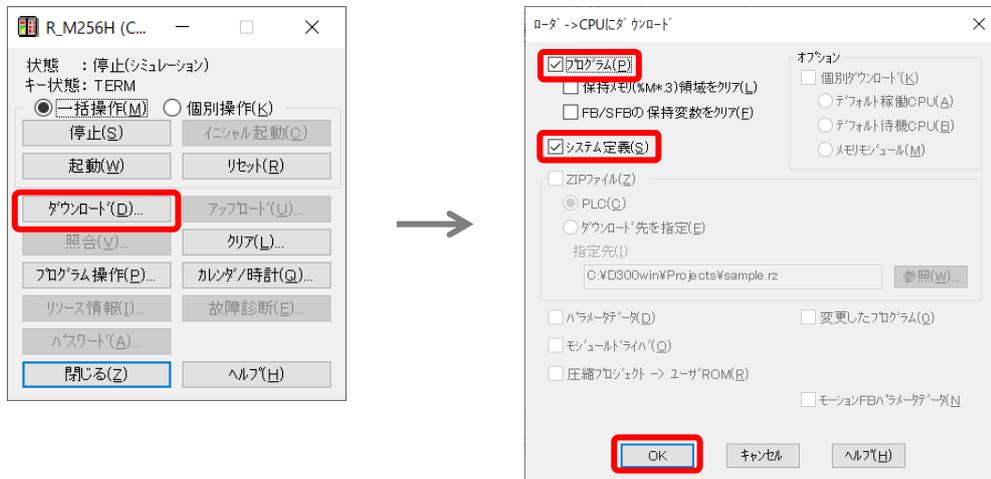
 [SXPLC シミュレータ情報] ダイアログが表示されない場合
[表示] → [SXPLC シミュレータ情報] をクリックします。



- 5 [オンライン] → [プロジェクトコントロール] をクリックします。
SXPLC シミュレータを起動させている場合、下図のように状態が「停止 (シミュレーション)」と表示されます。



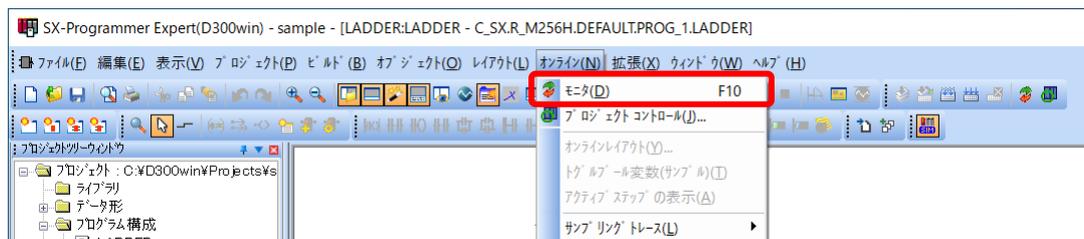
- 6 [ダウンロード] をクリックすると、[ローダー->CPUにダウンロード] ダイアログが表示されます。
[プログラム] と [システム定義] を選択し、[OK] をクリックします。ダウンロードが始まります。



- 7 ダウンロードが正常に終了すると、以下のダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。
[プロジェクトコントロール] ダイアログ内の [リセット] をクリックし、SXPLC シミュレータをリセットします。



- 8 [オンライン] → [モニタ] をクリックし、プロジェクトをモニタ状態にします。



5.2 SX-Programmer Standard の場合

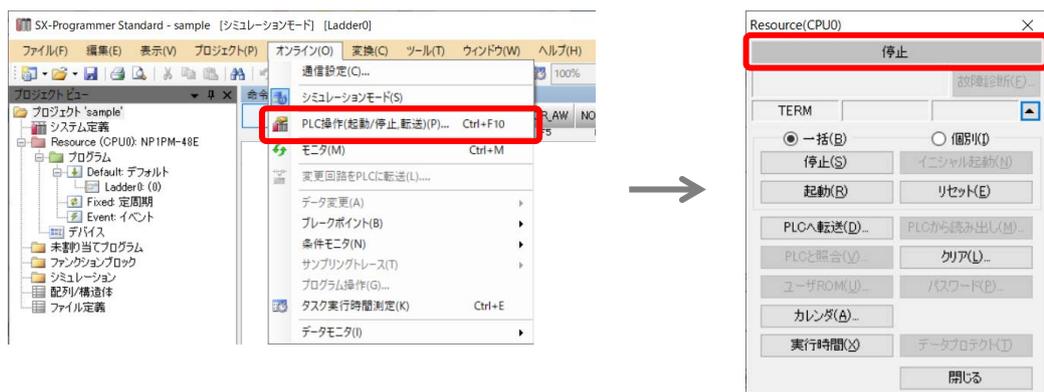
- 1 PLC のプロジェクトデータを開きます。
- 2 [変換] → [すべて変換] をクリックし、プロジェクトにエラーがないことを確認します。
- 3 [オンライン] → [シミュレーションモード] をクリックすると、[SX シミュレータ] ダイアログが起動します。



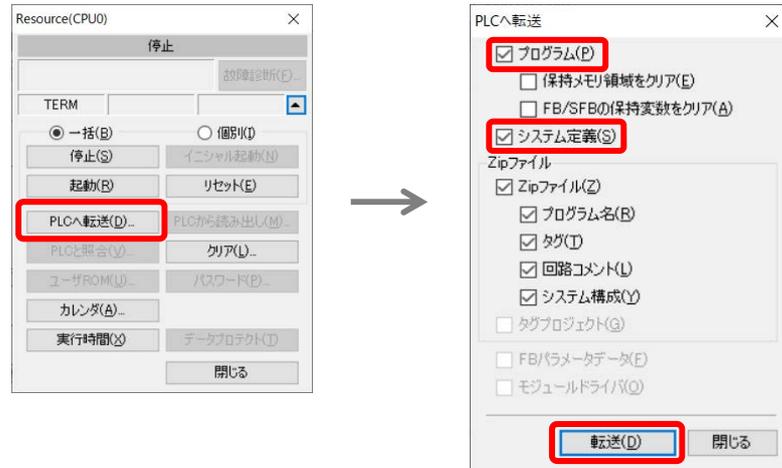
- 4 [Slot0] をクリックし、[CPU モジュール選択] ダイアログで CPU モジュールの型式を選択し、[OK] をクリックします。[SX シミュレータ] 上に、選択した CPU が表示されます。



- 5 [オンライン] → [PLC 操作(起動/停止/転送)] をクリックすると、[Resource(CPU0)] ダイアログが表示されます。このとき SX シミュレータは停止状態です。



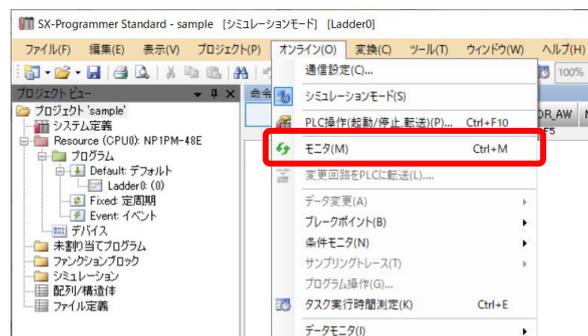
- 6 [PLCへ転送] をクリックすると、[PLCへ転送] ダイアログが表示されます。
 [プログラム] と [システム定義] を選択し、[転送] をクリックします。ダウンロードが始まります。



- 7 ダウンロードが完了したら、以下のダイアログが表示されるので、[はい] をクリックします。
 リセットが完了すると、SX シミュレータが運転状態に変わります。



- 8 [オンライン] → [モニタ] をクリックし、プロジェクトをモニタ状態にします。



5. TELLUS-HMI の起動

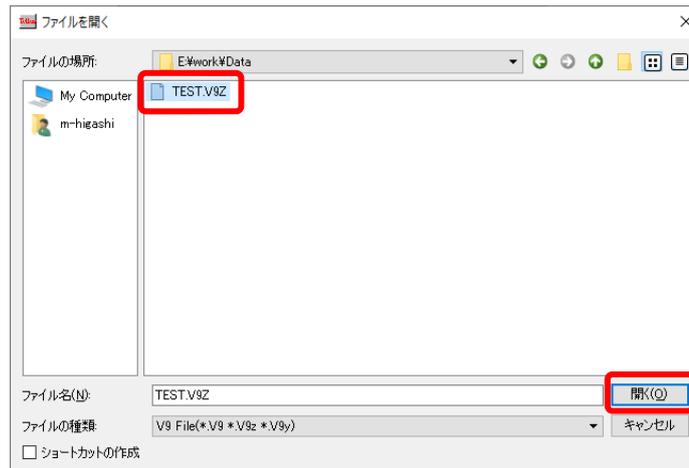
- Windows のスタートメニューを開き、[Tellus] → [Tellus4] をクリックし、TELLUS4 を起動します。
- TELLUS のライセンス認証を行っていない場合、以下のダイアログが表示されます。
[いいえ] をクリックし、次のダイアログでは [OK] をクリックします。



- [起動モードの選択] で [HMI] を選択後、[OK] をクリックします。



- [ファイルを開く] ダイアログで、P. 2 で作成した「.V9Z」ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



- すでに起動している SX シミュレータと TELLUS4 が接続され、画面が起動します。



TELLUS のライセンス認証を行っていない場合、1 時間経過するとアプリケーションが終了します。再度手順 1 から TELLUS を起動しなおして使用できます。